

## 群馬県介護支援専門員協会 新体制がスタートしました

### 新副会長 紹介



中沢 かよ子 副会長

この度、去る6月17日の定期総会において前浅沼副会長の後任として拝命を受けました。女性副会長初代には、金井さんそして2代目に浅沼さん、私は三代目になります。

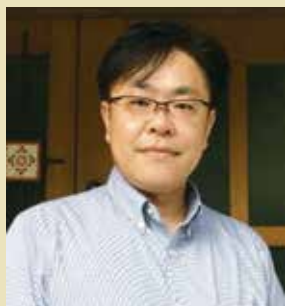
前任のお二人に習い、介護支援専門員協会の発展のため、現任目線での働きができればと考えております。介護支援専門員を取り巻く環境は、介護保険制度改正、そのたびに見直され新たな業務も重なり、周囲の声は、いつも、いつも、忙しく、追われていると聞いております。私もその一人です。介護支援には適切なケアマネジメントを軸に、専門職として安心した環境の下で活動ができることを念じております。この度の役員改選において、若い力ある方々を迎えたメンバー構成になりました。メンバーの顔を見ると、エネルギーを感じます。協会の前進のための船出に期待できると感じております。皆様の支えの下、努力したい所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

### 新理事 紹介

新井 薫 理事



今年度より新たに理事の一員に加えて頂きました。「ケアハウスきょうめ」で施設長をしております。以前は緩和ケアの中でも癌終末期に特化したケアマネジャーとして居宅中心に活動していましたが、現在はケアハウスでも地域との連携の中で、最期まで安心して過ごせる場が提供できないかと奮闘する毎日を送っております。在宅でも、施設でも介護保険のあり方を考える時、やはり行政と同じテーブルで話し合う、現場の声が行政に届く必要があると感じます。そのためには会員数が必要だと考えます。利用者さんにとっても、我々にとってもより良いケアマネジメントができるよう、皆さんと共に歩む協会創りを微力ながらお手伝いさせて頂ければと思っています。よろしくお願いいたします。



坂井 崇 理事

今回、理事をさせていただく事となりました前橋川原ケースマネジメント、管理者の坂井崇です。私自身、この協会が設立された時から会員を続け、これまで居宅介護支援一筋で現任ケアマネジャーをしております。7月3日の全国介護保険担当課長会議の資料を読みますと保険者機能の抜本強化「地域包括ケアシステムの進化・推進」「新たな介護保険施設の創設」「地域共生社会の実現に向けた取り組み～我が事・丸ごとの地域作り」など財源論と一体で大きな変革を起こそうとする国の方向性が示されています。今後、保険者に対し様々な権限が委譲してゆく中、利用者、現場の声を代弁し、行政と協議できるのは個人ではなく職能団体です。数は力です。様々な機会を通じて入会を呼びかけ、一人でも多くの仲間に参加いただけるよう、企画も含め努力してゆきたいと思っています。皆様、宜しくお願い致します。

### 高田 勢子 理事



この度理事を務めさせて頂くことになりました、高田勢子です。私は、太田支部の事務局をさせて頂いております。前浅沼副会長(現太田支部支部長)が勇退されるご意思を太田支部役員会で表明され、県の理事会に太田支部から1名は推薦したいとおっしゃいました。役員会で何度か検討した結果、私が立候補させて頂くこととなりました。太田支部では、立ち上げ時より、浅沼支部長の下、活動させて頂いております。微力ではありますが、県理事会と太田支部の橋渡しとして、また県内のケアマネジャーの皆様のお役にたてればと思っております。よろしくお願い申し上げます。

---

### 中島 麻衣子 理事



この度、理事となりました中島麻衣子と申します。私は、平成28年4月より伊勢崎市より法人委託を受け、伊勢崎市地域包括センター<sup>あずま</sup>東に勤務しております。地域包括支援センターの業務を通じて、たくさんのケアマネジャーの方々との出会いがあり、さまざまな想いを共有させて頂きました。常にアンテナを高く、最新情報にアクセスしながら、更にケアマネジャーの皆様とのコミュニケーションを大切にしていきたいと思っております。互いに楽しく高め合える、そして日々の業務に充実感のあるケアマネジャーがたくさん増えるように、協会のお手伝いさせて頂きます。皆様のお力を借りながら頑張りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

---

### 中西 有美子 理事



今年度より理事をさせていただきます中西有美子です。今までは、高崎・安中支部の支部長として群馬県介護支援専門員協会には関わらせていただきました。支部では、会員の皆様の意見を取り入れながら研修などの企画や実践を他の役員に支えられながら行ってきました。今回は、新理事として、また新たな気持ちで群馬県の介護支援専門員の皆様のお役にたてればと思っております。

また普段は、居宅介護支援事業所に所属して、居宅のケアマネジャーとして実務を行っております。ケアマネジャーの業務を通してケアマネジャーに必要な研修の立案や情報収集・提供などの活動を行っていきたく思います。皆様のご協力をお願いします。

## 各委員会メンバー 一覧

総務財政委員会（担当副会長：松沢 斉）

氏名	勤務先名
委員長 松沢 斉	養護老人ホーム 希望館
理事 坂井 崇	前橋川原ケースマネジメント
理事 中島 麻衣子	伊勢崎市地域包括支援センター東
理事 島田 光明	株式会社ファーコス
金井 敏江	群馬県看護協会訪問看護ステーション居宅介護支援事業所
菊地 恒夫	特別養護老人ホーム上毛の里

学術研修委員会（担当副会長：中沢 かよ子）

氏名	勤務先名
委員長 菅野 圭一	渋川市国民健康保険あかぎ診療所
理事 安藤 繁	介護老人保健施設 若宮苑
理事 新井 健五	介護老人保健施設 ミドルホーム富岡
理事 高麗 寿史	公立藤岡総合病院
理事 関根 京子	青梨子訪問看護ステーション
理事 小沼 説雄	居宅介護支援 元助
理事 高田 勢子	介護老人保健施設 ふじあく光荘
理事 須田 和也	じゃんけんぼん地域生活支援室

広報情報委員会（担当会長：大澤 誠）

氏名	勤務先名
委員長 松本 勝美	介護老人保健施設 青梨子荘
理事 須田 和也	じゃんけんぼん地域生活支援室
理事 岡島 真実	内田居宅介護支援事業所
理事 新井 薫	ケアハウスきょうめ
理事 中西 有美子	パナケア真中 高崎居宅介護支援事業所
野中 和英	ケアプランセンター 老研
小林 秀子	みどり市社会福祉協議会居宅介護支援事業所
大澤 伸子	オハナサポート
前田 正博	居宅介護支援事業所 温守
金井 敏明	ちよだ COM ハウス
高橋 敬子	在宅介護支援センター しぶかわ
小出 良一	特別養護老人ホーム ふじの里
黛 輝雄	西吾妻福祉病院
石田 知里	居宅介護支援事業所 なゆた
井上 一也	輝城会重度介護支援センター
村田 利行	南牧村地域包括支援センター

# ケアマネジメント群馬フォーラム XIV in 北中毛

## 開催のご案内

ケアマネジメント群馬フォーラムXIV in 北中毛  
実行委員長 野中 和英

前々号の103号でもご案内しました通り、今年度のケアマネジメント群馬フォーラムin北中毛を11月12日（日）に、群馬県社会福祉総合センターで開催します。

大会テーマは「ケアマネジメントで切り拓く地域共生社会」で、高玉真光大会長のもと、現在実行委員会で準備をしているところであります。

今回のフォーラムでは大会長の強い思いもあり、久しぶりに事例発表を午前中に企画しました。ケアマネジャーの業務をしていると、日々「これで良かったのかな?」「利用者・家族にどう関わったら良いのだろう?」「他のケアマネジャーはどうしているのだろう?」と悩みながら仕事をしている方が多いのではないかと思います。そんな中、他のケアマネジャーの事例発表を聴くことで、共感や気づきが得られ、自分自身への業務に大変役立つのではないかと思います。

午後は基調講演を2演題企画しました。1つ目は、厚生労働省老健局総務課 介護保険指導室長 遠藤征也氏をお招きし、大会テーマでもある地域共生社会の実現にむけてのご講演を予定しております。制度・分野ごとの縦割りや、支え手・受け手という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながるために、ケアマネジャーの役割は何なのか?みなさんと一緒に考えていきたいと思っております。

2つ目は、介護福祉ジャーナリストの田中元氏をお招きし、平成30年度の診療報酬・介護報酬の同時改定についてのご講演を予定しています。ジャーナリストとして取材された最新情報を知ることができる絶好の機会ではないでしょうか。

これまで同様、ランチョンセミナーもご用意しております。貴重な日曜日に1日研修となると気が減入ってしまう方も多いかと思いますが、参加して良かったと思っただけのようなフォーラムを開催していきたいと思っておりますので、皆様のご参加を心からお待ちしております。



# 理事会・委員会報告

## 理事会

会長 大澤 誠

7月11日開催の理事会報告では、各委員会の委員構成の検討がありました。新任理事に関しては、坂井崇さん、島田光明さん、中島麻衣子さんの三人が総務財政委員会に配属され、中西有美子さん、新井薫さんは広報情報委員会、高田勢子さんは学術研修委員会に、それぞれ配属されました。三役に関しては松澤さんがそのまま総務財政、中沢さんは学術、大澤は広報担当となりました。再任の理事はこれまでどおり、ただし須田さんは学術と広報との兼務となっています。この体制で再来年の5月まで頑張りたいと思いますが、学術研修委員会の新井健五さんからは、早速、施設ケアマネジャー向けの研修について、当協会で行って行きたいという提案（安藤さん代弁）がありました。

## 総務財政委員会

総務財政委員長 松沢 斉

総務財政委員会的一大イベント社員総会も本年6月17日に無事行われました。事業報告・決算、事業計画・予算をご承認いただいた会員の皆様に心より感謝申し上げます。

今年は役員改選の年でもあり、3名の理事が勇退されましたが、6名の新理事をお迎えすることができました。総務財政委員会も新理事を3名加えて体制が強化されましたので、新規会員の獲得・現会員の継続に力を入れてまいります。会員の皆様も、どうか執行部任せになさらず、お近くの未入会のケアマネジャーさんへの入会のお誘い、やめてしまいそうな雰囲気の方への継続の声掛け、できることならお勤め先や取引先に賛助会員になっていただけるようお願いをしてみてくださいませ。

## 学術研修委員会

学術研修委員長 菅野 圭一

7月8日（土）から、「現役ケアマネの知識のブラッシュアップのためのケアマネ対策講座参加企画」が開始となりました。僕の担当は7月29日で、現役の参加は4名でした。実をいうと、もうちょっと参加してもらえるのではと期待していたんですが・・・ちょっと残念です。でも、集まった受講生は皆さん熱心に僕の「公演」に参加してくださり、鋭い質問もたくさんいただきました。来年度、僕たちの仲間が増えることを楽しみにしています。

## 広報情報委員会

広報情報委員長 松本 勝美

ケアマネ群馬104号を発行しました。今後発行するケアマネ群馬は季節に合わせた色をメインカラーにしてお届けする予定です。広報情報委員会の担当であり長年勤めて頂きました浅沼副会長が退任いたしました。今後は広報情報委員会は、大澤会長の直轄となります。今後更に会員の皆様により良い情報を提供していけるよう努力して参ります。ケアマネ群馬やホームページについてご意見やご感想がありましたら、各支部の広報情報委員にお伝えください。参考にさせて頂き、より良い形に変更していきます。皆様のご意見をお待ちしております。

## 支部情報

### 利根・沼田支部

6月10日(土)13時30分から平成29年度利根沼田介護支援専門員協会総会が開催されました。今年度事業目標として、「介護支援専門員自身の資質向上」「サービス事業所及び関連団体との連携強化」「組織作り」という3つの目標が掲げられました。ケアマネジャーは一人仕事になりがちで、そこで悩みや不安を感じている人も多くいます。会員の交流や横のつながりへの発展、相談の場を作っていく事で職能団体としての役割を明確にする目標内容となりました。

その後の記念講演では、群馬県介護福祉士会会長 小池 昭雅会長を講師としてお招きし、『介護



職として働くということ～介護・福祉の仕事をして教えられたこと』をテーマにご講演いただきました。ケアとは、福祉とは何か見つめ直す事のできる講演内容であり、いろいろと考えさせられました。日々ケアマネジメントをしていく中でつい目先の問題にばかり意識が行ってしまいがちになってしまいがちですが、その人の「歴史」を知る事の大切さを改めて実感することが出来ました。小池会長と岡島利根沼田支部長のトークセッションでは、小池会長が実際現場の第一線で仕事をする中で感じる「ケアプランは誰のためか?」「抱え込みケースの是非」「良いケアマネ」「悪いケアマネ」など心に突き刺さるギリギリトークで盛り上がりました。今後もより良い仕事や活動ができるよう自己研鑽に努めたいと思います。

(輝城会重度介護支援センター 井上 一也)

### 吾妻支部

7月7日(金)18時半から、支部の定期総会を吾妻保健福祉事務所で行いました。支部会員47名中、出席者16名、委任状提出者22名でした。総会内容としては、平成28年度の事業報告・収支決算・会計監査報告、及び平成29年度の事業計画案・予算案を議事し、全員一致で採決されました。

総会終了後の講演会では、「実地指導時のポイントについて」をテーマに群馬県監査指導第二係長の坂本匠氏に講義をいただきました。指導事例を中心に説明していただいたことで、参加者も真剣に聞き、講義後は多数の質問が出て活発な内容になりました。

その後、吾妻保健福祉事務所の職員の方も参加しての懇親会を行いました。その場では、吾妻地域で取り組みが始まった「退院調整ルール」の手引き作成に対する支部としての意見提出・協力を行うこと、また支部会員の減少がみられるので組織率を高める取り組みをしていくこと等の意思統一を行うことができました。

(小規模特別養護老人ホームすいせんの里 田村 広行)

## 渋川支部



7月9日（日）渋川市民会館にて「第1回在宅医療・看護・介護連携フォーラム」が開催されました。このフォーラムは、渋川地区医師会の委託先である渋川地区在宅医療連携支援センターの事業の一環として開催されました。介護支援専門員渋川圏域支部も実行委員として会議に参加してきました。会場では、19のブースが出展し介護食試食コーナーや相談コーナーがありました。来場者に対し担当スタッフが丁寧に説明していました。介護支援専門員の

ブースは、連携の多い職種ということで訪問看護ステーションの隣に位置しました。「ケアマネのお仕事」を紹介しました。世田谷区特別養護老人ホーム芦花ホーム石飛幸三先生による「人らしく最期を迎えること」の講演会があり来場者が興味深く聴いていました。

（在宅介護支援センターしづかわ 高橋 敬子）



## 前橋支部

6月23日（金）19時より、前橋市総合福祉会館にて定期総会を開催しました。今年度の活動としては、11月12日（日）に開催する「ケアマネジメント群馬フォーラムXIV in 北中毛」のホスト支部として企画運営に携わり、また来年度の医療・介護保険の改定に備えての研修会の開催、また会員からの要望にあった研修会を企画していきたいと思えます。



総会後は、前橋市介護保険室の方をお招きし、「ケアマネジメントの視点～ケアプラン点検から見てきたこと～」についてご講演いただきました。これまで市で行ってきたケアプラン点検の中で、「アセスメントは十分に行われているのに、それがニーズに結びついていない」、「目標の設定について」、「軽微な変更について」などのお話があり、改めてケアプランの作成について学び・気づきを得ることができました。

利用者の自立支援につながるケアプランを作成するため、これからも日々学んでいきたいと思えます。

（ケアプランセンター老研 野中 和英）

## コラム

### 高齢者を詐欺被害から守りましょう。

先月、市内の高齢者が振り込め詐欺の被害に数件あったことを聞きました。実は、私が担当している利用者の配偶者がもう少しの所で詐欺被害に遭う所だったのです。金融庁を名乗る若い男性からの電話で、預金をしている金融機関が顧客の情報を流出しているので、預金をすぐに下した方がいいという内容だったようです。高齢者二人暮らしで、電話を受けた後に慌てて金融機関に出向いたその様子を行員が不審に感じて警察に通報し、刑事が駆けつけたようです。その後、刑事から事務所に電話が入ったので訪問すると、当事者は騙されたという意識は全くなく、驚いたことに銀行員を疑っている話振りでした。その刑事から、できれば預金管理は家族が関わるのが望ましいと助言がありました。そのことをご家族に連絡して対応をお願いしましたが、別居しているご家族は、「財産管理」は個人の意思を尊重したいという回答でした。ただ、これを契機に家族間で話合うこと、エンディングノート等を活用してご両親の理解を深めることを提案しました。

詐欺の手口は年々巧妙化しているようです。その反面、独居や老々世帯高齢者等が増えているのが現実です。こちらもご本人・家族を含むケアチーム、ご近所の協力を得ながら詐欺被害から高齢者を守るようにしていきたいものです。

(基礎資格 社会福祉士 O.N)

## 事務局からのお願い

### 会員登録に変更のある方へ

住所変更・勤務先変更等のある方は、変更届のご提出をお願いいたします。

ご提出いただけない場合、郵便物等お届けできなくなってしまいます。

変更届につきましては、国会ホームページ《トップページ→事務局から→変更届》より用紙をダウンロードのうえ、必要事項を記入しFAX送信してください。

### 新規入会・退会をご希望の方へ

新規入会をご希望の方、また退会をご希望の方は、国会ホームページ《トップページ→事務局から→入会申込書(正会員)様式・退会届様式》より用紙をダウンロードのうえ、必要事項を記入しFAX送信してください。

#### お詫びと訂正

前号104号の2ページ、上から6行目の群馬県社会福祉協議会会長様のお名前を間違えて掲載してしまいました。正しくは、片野清明様になります。謹んでお詫び申し上げますとともに、訂正させていただきます。

一般社団法人群馬県介護支援専門員協会 会長 大澤 誠

## 編集 後記

6月の総会で役員改選が行われ、新体制がスタートしました。広報情報委員会にも新しいメンバーが加わり、新しい意見を取り入れることで委員会内の活性化を図り、皆様にタイムリーな情報をお届けしたいと思います。(の)